

- 21) 石丸智也, 山口泰彦, 齋藤大嗣, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 安部倉仁, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時の咬筋筋電図波形積分値の実態解明. 補綴学会東北・北海道支部学術大会 (オンライン), 2022年10月16日.
- 22) 三村 俊平, 栗原 加奈子, 深町 直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川 純平, 竹山 雅規, 小野 高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日.
- 23) 高野日南子, 村上和裕, Aye Mya Mya Khaing, 堀 一浩, 小野高裕: 咀嚼能率測定用グミゼリーの咬断片個別解析の試み. 日本補綴歯科学会関越支部令和4年度学術大会 (Web), 2022年11月13日.
- 24) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を図った症例. 日本補綴歯科学会関越支部 令和3年度学術大会 (オンライン), 2022年11月13日.
- 25) 水野海渡, 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀 一浩, 東森充: アレイ状配置チャンバを有する舌型空圧ソフトアクチュエータの設計. 第23回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 千葉, 2022年12月15日.
- 26) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀 一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第68回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022年12月17日.
- 27) 李 宙垣, 渡辺 崇文, 松岸 諒, 喜田 悠太, 板離子, 兒玉 匠平, 大川 純平, 堀 一浩, 津賀一弘, 小野 高裕: 液体の物性および量による嚥下時舌圧の変化とAIによる解析. 第68回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022年12月18日.

【受賞】

- 1) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第68回日本顎口腔機能学会優秀口演賞 2022年12月18日.
- 2) 小野高裕: 令和3年度日本補綴歯科学会 学術賞, 2022年7月15日.
- 3) 堀 一浩: 令和3年度 咀嚼学会第33回学術大会 優秀学会賞, 2022年10月2日.

【その他】

- 1) 小野高裕: 特集「一生続けることだから. 楽しく

- 食べるための、咀嚼と嚥下」(咀嚼編). 太陽笑顔 fufufu, 51:5-13, ロート製薬, 2022年12月1日.
- 2) 前田健康, 小野高裕: Special Interview 「教育 x デジタルデンティストリー」. Ha・ha・ha, 96:12-14, 松風歯科クラブ, 2023年1月.
- 3) 小野高裕: 舌接触補助床 PAP 入門編 咀嚼・嚥下・構音障害をもつ患者さんのために. Doctorbook オンラインセミナー, 2023年1月17日.

組織再建口腔外科学分野

【書籍】

- 1) 小林正治: 顎変形症治療の基礎知識 (富永和弘 他, 日本顎変形症学会編), 8-9, 11-12, 70-73 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2022.

【論文】

- 1) Nakamura A, Hasebe D, Kato Y, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T: Intravenous administration of lidocaine and magnesium for severe pain caused by primary chronic osteomyelitis of the mandible: A case report. Oral and Maxillofacial Surgery Cases, 8(2), June 2022, 100251, Available online 23 March 2022, DOI: 10.1016/j.tranon.2021.101236.
- 2) Mikami T, Kobayashi T, Hasebe D, Ohshima Y, Takahashi T, Shimohata T: Oral appliance therapy for obstructive sleep apnea in multiple system atrophy with floppy epiglottis: a case series of three patients. Sleep and Breathing, Available online 29 March 2022, doi.org/10.1007/s11325-022-02607-0.
- 3) Inaba Y, Hasebe D, Hashizume K, Suda D, Saito N, Saito D, Sakuma H, Funayama A, Kobayashi T: Changes in nutritional status of patients with jaw deformities due to orthognathic surgery. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, Accepted date: 11 July 2022, DOI: 10.1016/j.oooo.2022.07.007.
- 4) Chan NN, Yamazaki M, Sakuma H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: A case report and literature review. Oral Sci Int, Available online 19 July 2022, DOI: 10.1002/osi2.1155.
- 5) Kasahara M, Sakuma H, Hasebe D, Saito D, Kato Y, Osawa K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report. J Oral Maxillofac Surg Med

- Pathol 35 (2) : 153-157, Accepted 8 August 2022, DOI:10.1016/j.ajoms.2022.08.005
<https://doi.org/10.1016/j.ajoms.2022.08.005>.
- 6) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. CRANIO: The Journal of Craniomandibular & Sleep Practice, accepted on 23 Aug 2022, DOI: 10.1080/08869634.2022.2118263.
 - 7) Kawaharada M, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Chan NN, Funayama A, Uenoyama A, Akimori T, Tomihara K, Tanuma JI. Clinicopathologic factors influencing the screening accuracy of oral cytology: A retrospective cohort study. *Oncol Lett* 24(5):385,15 Sep 2022, DOI: 10.3892/ol.2022.13505.
 - 8) Mikami T, Funayama A, Niimi K, Haga K, Kawaharada M, Nakamura A, Katagiri W, Kobayashi T: Prognostic value of preoperative systemic inflammatory response as a prognostic indicator in patients with early-stage oral squamous cell carcinoma. *Medicine* 101(44):e30855, 2022, DOI: 10.1097/MD.00000000000030855.
 - 9) Sakuma H, Hasebe D, Takeuchi R, Hara T, Suda D, Saito N, Saito D, Kobayashi T: The use of an ultrasonic curettage device in orthognathic surgery decreases surgery-related blood loss. *Heliyon* 8(12) : e12639. 2022, DOI: 10.1016/j.heliyon.2022.e12639.
 - 10) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi T, Tanuma JI. Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int. J. Mol. Sci.* 24(7) 6035 2023, DOI: 10.3390/ijms24076035.
 - 11) Asami E, Kitami M, Ida T, Kobayashi T, Saeki M: Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves transcriptional inhibition of lipopolysaccharide-induced nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1. *Immunopharmacology and Immunotoxicology*: Available online 30 March 2023, DOI: 10.1080/08923973.2023.2197141.
 - 12) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高木律男, 小林正治: 呼吸器・感染症内科からの診療依頼患者を対象とした薬剤関連顎骨壊死発症に関する調査. *日本口腔ケア学会雑誌* 16 (2) : 63-68 頁, 2022.
 - 13) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野 要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤 功, 高木律男, 富原 圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討 口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて. *日口蓋裂会誌* 47(1):20-29 頁, 2022.
 - 14) 新美奏恵, 竹内涼子, 船山昭典, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の信頼性と妥当性の検討. *日顎変形会誌* 32 (1) : 15-22 頁, 2022.
 - 15) 齋藤直朗, 丸山 智, 加藤祐介, 竹内涼子, 田沼順一, 小林正治: 口底部に生じた異所性胃腸管嚢胞の1例. *日口外会誌* 69(1) : 27-31 頁, 2022.
 - 16) 須田大亮, 長谷部大地, 原 太一, 竹内涼子, 羽賀健太, 小林正治: 過去 10 年間の新潟大学医歯学総合病院口腔外科いびき外来受診患者の臨床的検討. *新潟歯会誌* 52(2) : 59-66 頁, 2022.
- 【研究費獲得】**
- 1) 羽賀健太: コストダウンと高機能化により費用対効果を向上させた新規培養真皮の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K20504, 2022.
 - 2) 小林正治, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功: 外科的矯正治療の適応判断に有用な顎顔面形態指標を組み入れた日本版 IOFTN の策定. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10158, 2021.
 - 3) 須田大亮: ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17085, 2021.
 - 4) 竹内涼子: 骨髄間葉系幹細胞由来エクソソームによる新規骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21060, 2021.
 - 5) 船山昭典, 田沼順一, 泉 健次, 三上俊彦: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞 (CAF)の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10329, 2021.
 - 6) 三上俊彦, 船山昭典, 新美奏恵: 癌関連線維芽細胞 (CAF)を標的とした新しい口腔癌治療戦略の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10354, 2021.
 - 7) 長谷部大地, 小林正治, 齋藤大輔: 顎変形症患者における鼻咽腔領域における気道形態変化のシュミレーションモデルの考案. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10134, 2021.
 - 8) 隅田好美, 頭山高子, 浅海靖恵, 柴田由美, 宮崎伊久子, 朝井政治, 木村有子, 黒田研二, 小林正治, 田中健一朗: 「社会参加」を促進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10284, 2021.
 - 9) 齋藤大輔: 骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立. 日本学術振興会科学研究

究費補助金 若手研究(B), 19K19190, 2021.

- 10) 齋藤直朗: 薬剤関連顎骨壊死のメカニズムを大局的に解明する一骨細胞ネットワークに着目して一. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 19K1989, 2021.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 新美奏恵: 顎変形症患者の QOL と社会心理学的背景: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の開発. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9 - 10 日, 日顎変形会誌 32(2): 90 - 91 頁, 2022.
- 2) 長谷部大地: 外科的矯正治療の適用ボーダーライン: IOFTN を用いた外科的矯正治療のボーダーラインの検証. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9 - 10 日, 日顎変形会誌 32(2): 132 - 133 頁, 2022.
- 3) 長谷部大地: 顎変形症患者の機能改善を目指して: 顎変形症患者における睡眠時の呼吸機能の改善. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4 - 6 日, 日口外会誌 68: 37 頁, 2022.

【学会発表】

- 1) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Masami Kawaharada, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol assists migration of oral squamous cell carcinoma by regulating front-rear cell polarity. 第 111 回日本病理学会総会, 神戸, 2022 年 4 月 14 日, 同プログラム抄録集, 66 頁, 2022.
- 2) 佐久間英伸, 原 太一, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における術式別 Hidden blood loss の定量的評価と影響因子の調査. 第 76 回日本口腔科学会・学術集会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 240 頁, 2022.
- 3) 笠原公輝, 佐久間英伸, 加藤祐介, 長谷部大地, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療を施行した Tricho-rhino-phalangeal syndrome の 1 例. 第 76 回日本口腔科学会総会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 71 頁, 2022.
- 4) 須田大亮, 船山昭典, 齋藤大輔, 新國 農, 丸山 智, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉部転移性腫瘍を契機に診断に至った腭癌の 1 例. 第 76 回日本口腔科学会・学術集会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集: 159 頁, 2022.
- 5) 野澤 舞, 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我

麻里恵, 小林正治. 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者での薬剤関連顎骨壊死発症率の調査報告. 第 76 回日本口腔科学会総会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 103 頁, 2022.

- 6) 竹内涼子, 大湊 麗, 新美奏恵, 丹原 惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と構音機能に及ぼす影響の検討. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2022 年 5 月 26-27 日. 日口蓋裂学会誌 47(2):130 頁, 2022
- 7) 佐久間英伸, 原 太一, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治. 顎矯正手術における Hidden blood loss の術式と骨切削器による比較. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変形会誌 32(2): 195 頁, 2022.
- 8) 齋藤大輔, 原 太一, 須田大亮, 齋藤直朗, 佐久間英伸, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における 3D シミュレーションと CAD/CAM サージカルガイドプレート作製ならびに超音波切削機器の応用. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変形会誌 32(2): 158 頁, 2022.
- 9) 本間克彦, 齋藤大輔, 長谷部大地, 小島 拓. 上顎骨延長術を施行した唇顎口蓋裂症例の検討. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変形会誌 32(2): 180 頁, 2022.
- 10) 宮本一也, 傳田祐也, 五島秀樹, 清水 武, 小林正治. 閉塞性睡眠時無呼吸症を伴う顎変形症患者 2 例に対する外科的矯正治療の効果. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変形会誌 32(2): 185 頁, 2022.
- 11) 船山昭典, 三上俊彦, 新美奏恵, 齋藤大輔, 羽賀健太, 中村彬彦, 芳澤享子, 小林正治: 上顎歯肉・硬口蓋扁平上皮癌の臨床的検討. 第 46 回日本頭頸部癌学会 (オンデマンド), 奈良, 2022 年 6 月 17-18 日, 頭頸部癌 48(2): 221 頁, 2022.
- 12) 丸山航輝, 田村俊暁, 渡辺慶大, 今井滉太, 加藤祐介, 寺島健史: 顎口腔ジストニア話者の感覚トリックによる発話変化の定量的解析. 第 23 回日本言語聴覚学会, 2022 年 6 月 25 日, 言語聴覚研究 19(3): 269 頁, 2022.
- 13) 齋藤大輔, 片桐 渉, 須田大亮, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治: 多発性筋炎が疑われた咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例. 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌, 2021 年 7 月 2-3 日. 日顎関節会誌 34, 144 頁, 2022.

- 14) 笠原公輝、長谷部大地、原 太一、須田大亮、佐久間英伸、齋藤直朗、齋藤大輔、齋藤 功、小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会北日本地方部会, 北海道, 2022 年 7 月 9-10 日, 同プログラム集, 69 頁, 2022.
- 15) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol promotes migration of oral squamous cell carcinoma cells by regulating front-rear cell polarity. 令和 4 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2022 年 7 月 9 日, 新潟歯会誌 52(2): 91 - 92 頁, 2022.
- 16) 笠原公輝, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切り術を併用した顎矯正患者の顎骨安定性の検討. 第 112 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2022 年 7 月 22 日.
- 17) 須田大亮, 長谷部大地, 小林正治. 過去 10 年間の新潟大学医歯学総合病院口腔外科いびき(睡眠呼吸障害) 外来の臨床的検討. 日本睡眠学会第 47 回学術集会, 京都, 2022 年 6 月 30 日, 7 月 1 日, 同プログラム・抄録集, 256 頁, 2022.
- 18) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17-19 日, 同プログラム集, 287 頁, 2022.
- 19) 船山昭典, 新美奏恵, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 野澤 舞, 林 孝文, 勝良剛詞, 阿部達也, 田沼順一, 芳澤享子, 小林正治: 当科における口腔白板症患者の臨床的検討. 第 32 回日本口腔内科学会・第 35 回日本口腔診断学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会 (3 学会合同学術大会 オンデマンド), 札幌, 2022 年 9 月 22-24 日, 同プログラム集, 42 頁, 2022.
- 20) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol promotes oral cancer cells migration by regulating front-rear cell polarity. 第 32 回日本口腔内科学会・第 35 回日本口腔診断学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会 (3 学会合同学術大会 オンデマンド), 札幌, 2022 年 9 月 22-24 日, 同プログラム集, 34 頁, 2022.
- 21) 齋藤直朗, 阿部達也, 丸山 智, 船山昭典, 西山秀昌, 長谷部大地, 佐久間英伸, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治. 診断に苦慮したオトガイ下部紡錘細胞脂肪腫の 1 例. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4-6 日, 日口外会誌 68: 92 頁, 2022.
- 22) 鄭 琢揚, 長谷部大地, 笠原公輝, 須田大輔, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治. IOFTN と顎顔面形態分析を併用した外科的矯正治療の適応指標. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4-6 日, 日口外会誌 68: 75 頁, 2022.
- 23) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2), 109 頁, 2022.
- 24) Ryoko TAKEUCHI, Rei OMINATO, Kanae NIIMI, Daisuke SAITO, Jun NIHARA, Masaki TAKEYAMA, Isao SAITO, Tadaharu KOBAYASHI: Impact of orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. The 61th Congress of Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p.79, 2022.
- 25) Kosuke Hashizume, Wataru katagiri, Ryoko Takeuchi, Daisuke Suda, Tadaharu Kobayashi: Conditioned medium of bone marrow-derived mesenchymal stem cells promotes bone regeneration by enhancing macrophage phenotype switching. The 61st Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, South Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p. 167, 2022.
- 26) Zhuoyang Zhenga, Daichi Hasebe, Masaki Kasahara, Daisuke Suda, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Jun Nihara, Isao Saito, Tadaharu Kobayashi. Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. The 61th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons. South Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p.191, 2022.
- 27) 長谷部大地, 須田大亮, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤功, 小林正治. 顎矯正手術を施行した重度閉塞性睡眠時無呼吸 OSA を伴う顎変形症患者 2 例の検討. 第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 沖縄, 2022 年 11 月 19-20 日, 睡眠口腔医学 9: 109 頁, 2022.
- 28) 齋藤直朗, 長谷部大地, 齋藤大輔, 須田大亮, 佐久間英伸, 小林正治. 睡眠時呼吸機能を考慮した顎矯正手術. 第 113 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2022 年 11 月 25 日.

- 29) 橋爪孝介, 片桐 渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清はマクロファージ極性転換により骨形成を促進する. 第 26 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2022 年 11 月 26-27 日, 顎顔面インプラント誌 21(3): 213 頁, 2022.
- 30) 羽賀健太, 船山昭典, 長谷部大地, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 新美奏恵, 曾束洋平, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 小林正治. 中年女性の下顎骨に認めた広範囲なエナメル上皮線維腫の 1 例. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (WEB 開催), 2023 年 1 月 26 日, 同抄録集: 215 項, 2023.
- 31) Ryoko TAKEUCHI, Rei OMINATO, Kanae NIIMI, Jun NIHARA, Masaki TAKEYAMA, Isao SAITO, Tadaharu KOBAYASHI: Influence of orthognathic surgery on velopharyngeal function in patients with cleft palate. The 13th Joint Scientific Meeting of NAOMS and JSOMS and PG Convention, Nepal, Feb 4, 2023, Program : p.7, 2023.
- 32) 橋爪孝介, 片桐 渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清による早期骨形成におけるマクロファージ極性転換因子の影響に関する検討. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日, 同抄録集: 71 頁, 2023.

【研究会発表】

- 1) 長谷部大地, 齋藤大輔, 須田大亮, 竹山雅規, 大嶋康義, 馬場洋徳, 齋藤 功, 堀井 新, 小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切術ならびに下顎骨形成術を施行した顎変形を伴う閉塞性睡眠時無呼吸症の 2 例. 第 18 回新潟睡眠呼吸障害研究会定例会, 新潟, 2022 年 9 月 10 日.

【受賞】

- 1) 笠原公輝: 多分割 LeFort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会北日本地方部会 第 48 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会 日本口腔科学会 2022 年新人賞, 2022 年 7 月 9-10 日.
- 2) 浅見栄里: 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和 4 年度新潟歯学会, 新潟歯学会賞, 2022 年 11 月 12 日.

【その他】

- 1) 小林正治: 顎の形態と咬み合わせを治す外科的矯正治療. 日本顎変形症学会市民公開講座 (WEB 開催),

2022 年 6 月 10 日.

- 2) 小林正治: 顎変形症患者のクオリティ・オブ・ライフを考える. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2022 年 10 月 15 日.
- 3) 小林正治: 顎矯正手術における合併症について, 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2023 年 1 月 14 日.
- 4) 小林正治: 顎変形症手術の総論, 下顎枝矢状分割術の術式. Orthognathic Surgery Cutting Academy in Kanazawa 2023, 石川, 2023 年 1 月 21 日.

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 赤川順子, 池浦一裕, 稲本賢弘, 井上雅美, 内田ゆみ子, 上野尚雄, 大西淑美, 勝良剛詞, 園井教裕, 高橋郁名代, 塚越真由美, 土屋勇人, 角田和之, 庄野三友紀, 杉浦裕子, 曾我賢彦, 長縄弥生, 久野彰子, 光永幸代, 室 美里, 森 毅彦, 森 有紀, 山崎知子, 山西 整, 百合草健志: 造血細胞移植患者の口腔内管理に関する指針 (日本造血・免疫細胞療法学会編, 日本がん口腔支持療法学会編), 総 112 頁, 永末書店, 東京, 2022.
- 2) 林孝文: US (Ultrasonography, 超音波診断). 口腔外科研修ハンドブック (日本口腔外科学会編), 総 304 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022

【論文】

- 1) Hayashi T, Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K: Regarding the acoustic coupling medium for the estimation of the depth of invasion in tongue squamous cell carcinoma on intraoral sonography with special reference to the interpretation of normal mucosal structure: a literature review. Oral Sci Int. 19(1):19-23, 2022.
- 2) Suwabe T, Fuse K, Katsura K, Soga M, Katagiri T, Shibasaki Y, Narita M, Sone H, Masuko M: Intensive oral care can reduce bloodstream infection with coagulase-negative staphylococci after neutrophil engraftment in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation. Supportive Care in Cancer. 30:475-485, 2022
- 3) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J, Hayashi T: A comparative study between CT, MRI, and intraoral US for the evaluation of the depth of invasion in early stage (T1/T2) tongue squamous cell carcinoma. Oral Radiol. 38(1):114-125, 2022.